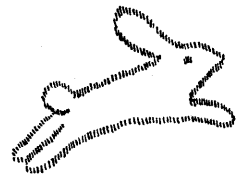


お伽の国へ



蕪木寿江

バスが見えたよ バス来たぞ

小さい組から乗るんだよ

うれしい顔がやってくる

みかけた顔が声かける

おはよう おはよう おはよう と

大声だす子や ださぬ子や

だんまりこくって乗る子ども

それでも口もと笑ってる

それでも その眼が語ってる

お伽の国へ行くバスか

おいしいおべんとう 持ってるよ

止まるたんびにお友達が

一人 二人と ふえてくる

春は 苺の白い花

夏は 背たか月見草

秋は 栗のいがいがが

冬は 白さぎさがす川

お伽の国につきました

大きな軍手に包まれて

小さいお手てが降りてくる

握手がこここの入場券

どの子も走るお部屋まで

好きな先生まっている

きょうはお花のブラウスに  
ちよっとかわった髪かたち

あゆみシールのこのグラス

赤にしようか 青がいい

「こわさないで」と頼んでた

積木の船に人形が 二つ並んで乗っている

昨日 かくしたブロックは

どこへいったかわからない

それより早く飛行機の運転台があいてるぞ

ままごと遊びのかあさんに

きょうこそなろうと 朝早く

摘んだ二本の赤まんま

お皿にのせて友達のを

来るのを少し待ってよか

葛の葉好きな白うさぎ

菜っぱの好きないんこうと

尾っぽの長いきんけい鳥

鳥小屋掃除の先生の

うしろにかくれて入ろうか

お迎えバスの早いこと

もっと遊んでいたいのに

白い軍手の手がまねく

「おかえりなさい」を くりかえす

よごれた服と 陽の匂い

それが かえりのキップです

からのおべんと 音たてて

座れば とろんと 夢の中

遊び疲れてねむる子を

かかえて降ろすお伽バス

さよなら さよなら またあした

さよなら さよなら またあした